

平成20年度
県立中学校入学者選抜

適性検査Ⅰ

時間 45 分
(10 : 00 ~ 10 : 45)

〈 注 意 〉

- 1 この用紙は「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 用紙は全部で7枚あります。指示にしたがって用紙の右下のすみをめくり、枚数を確認^{かくにん}しなさい。枚数が不足していたら、だまって手をあげなさい。
- 3 すべての用紙の右上の決められた欄^{らん}に、受検番号を書きなさい。
- 4 「始め」の合図で用紙を開き、解答を始めなさい。
- 5 印刷が悪かったり、筆記用具を落としたりしたときなどは、だまって手をあげなさい。
- 6 「やめ」の合図で、すぐに筆記用具を置き、表紙を上にして机の上に置きなさい。
- 7 この用紙を持ち帰ってはいけません。

1 ゆみこさんたちは、電気について話し合っています。



ゆみこ

わたしたちは、ふだんなにげなく、電気を使っているね。
おばあさんが子どものころは、はくねつでんきゅう白熱電球を使っていたと聞いたわ。

電気がなかったころは、どうやって明るくしていたのかな。



つよし



さちこ

そういえば、先月、資料館へ行ったら、あんどんというものがあったわ。
今から 410 年から 140 年くらい前に、多く使われていたんですって。

今から 140 年から 100 年くらい前には、ランプが多く使われていたと、
お父さんから聞いたことがあるよ。



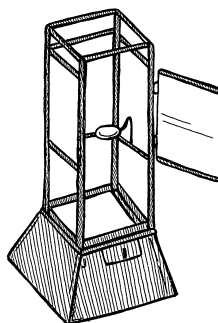
ひろき

(1) 下の図のア、イ、ウは、上の会話の中に出てきた明かりです。古い順に左から並べかえて、の中に記号を書きましょう。

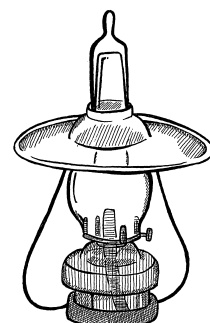
ア



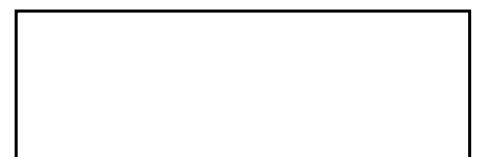
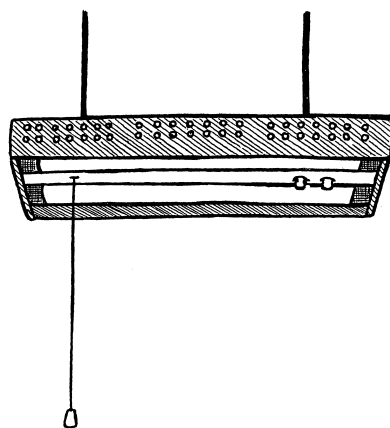
イ



ウ



(2) 下の図は、50 年くらい前から使われるようになった明かりです。何という名前かを の中に書きましょう。



ゆみこ

電気は、明るくするだけでなく、いろいろなものに使われているよ。

ぼくたちの家庭では、どれくらいの電気が使われているのかな。



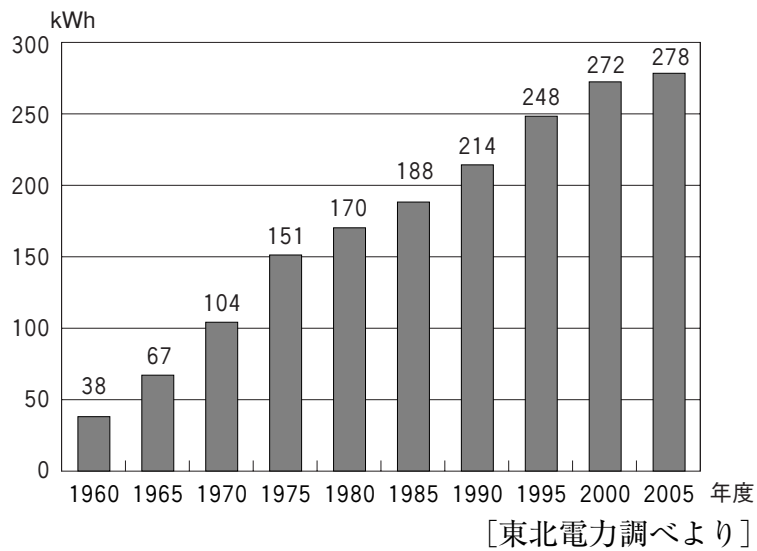
つよし



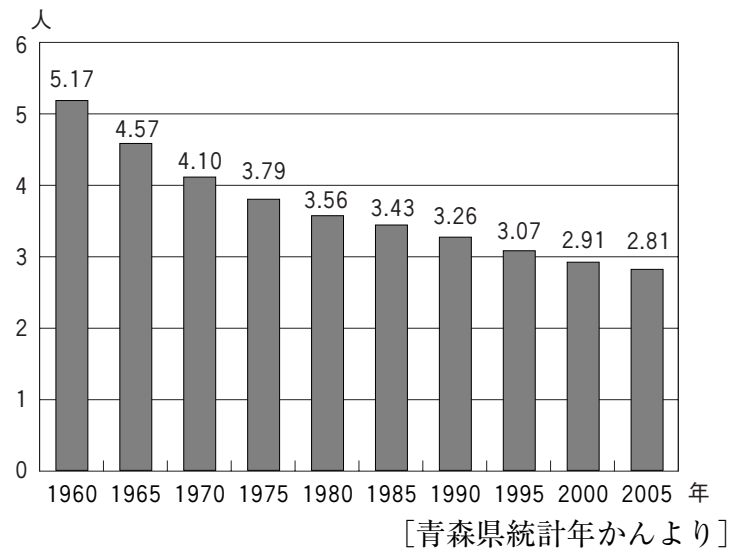
ひろき

ぼくは、青森県内の1家庭の1か月の電気の使用量と、1家庭の平均人数の移り変わりを調べてきたよ。

青森県内の1家庭の1か月の電気使用量の移り変わり



青森県の1家庭の平均人数の移り変わり



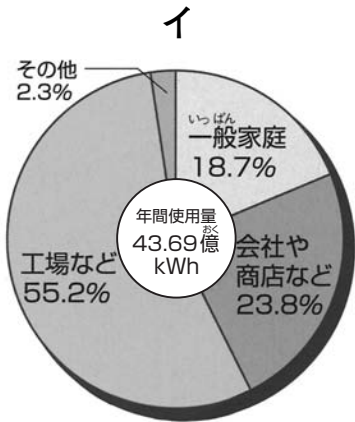
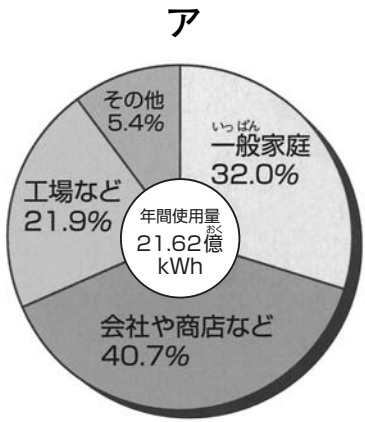
1 kWh (キロワットアワー) というのは、電気の使用量の単位。
例えば、100W (ワット) の電球 10 個を 1 時間つけると 1 kWh となる。

(3) 上の2つのグラフから読み取れることを書きましょう。



家庭だけではなく、他のところでもたくさんの電気が使われているんだよ。
下の2つのグラフは、青森県の^{とうせい}東青・^{しもきた}下北地区（青森市、むつ市など）と^{けんなん}県南地区（八戸市、三沢市、十和田市など）の2005年度の電気使用の内容を表したグラフだよ。

【^{とうせい}東青・^{しもきた}下北地区と^{けんなん}県南地区の電気使用の内容】



[東北電力調べより]

- (4) 上の2つのグラフのうち、^{けんなん}県南地区の電気使用の内容を表したグラフは、ア、イのどちらのグラフでしょう。□の中に記号を書きましょう。
また、そう考えた理由も書きましょう。

[記号]

[理由]

家庭以外でもたくさんの電気が使われ、電気は、ぼくたちの生活には欠かせないものになっているね。
ところで、電気は、どこでつくられているのかな。



ぼくは、電力会社のおじさんにお話をうかがってきたよ。
下は、そのお話をまとめたものだよ。



「電力会社のおじさんの話」

電気は、発電所でつくられています。つくられた電気は、配電線によって、家庭や工場などに送られています。

わたしたちは、毎日、みなさんが安心して電気が使えるように、いつも発電所や配電線に異常がないか調べています。台風の際は、強い風に飛ばされたものが配電線に引っかかっていないか注意して点検したり、海のそばにある電柱では、塩分を洗い落としたりしています。

60年くらい前までは、まだ電気が通っていないところもありました。でも、いろいろな人の努力で、電気が使えるようになりました。



さちこ

電力会社のおじさんたちは、わたしたちが安心して電気を使えるように、いろいろな努力をしているのね。

今までの話を聞いて、電気は、ぼくたちの生活を支えているということが分かったよ。大切に使わないといけないね。



つよし



ゆみこ

来週の水曜日に、全校集会があるよ。電気を大切に使うように、みんなに呼びかけましょうよ。

- (5) 電気を大切に使うように、全校集会でみんなに呼びかけをすることになりました。呼びかけのときは、ふだん生活をしている場面を写した写真を、一枚資料として示しながら発表します。あなたなら、どんな場面の写真を使って、電気の大切さがみんなに分かるように説明しますか。
- 写真の場면을言葉で説明し、また、発表内容も書きましょう。

[写真に写っている場面の説明]

[発表内容]

2

左の文章は、ボランティアについて書いたものです。

ボランティアという言葉、知っていると思いますが、くわしい意味は知らないという人が多いのではないかと思います。それはボランティアという言葉が日本語に訳しにくいことでもわかります。ボランティアは英語でその語源はボランティアというラテン語なんだそうです。ボランティアは「自由」とか「正義」、それに「勇気」という意味をもつ言葉だそうです。

自分から進んでやることで、だれか他の人のためになり、しかも自分は何の報酬も望まない、そういうことをボランティアの仕事といっています。

ボランティア活動とは、歳末助け合い運動に参加するとか、寝たきりのお年寄りに何かプレゼントを持って慰問してさしあげるとかの、特別な活動だけではありません。もちろんそういう活動もボランティア活動には違いありませんが、日常とは違う場面であればボランティア活動ではないと考えるのは間違いです。

たとえば、あなたが学校の廊下を歩いていたとき、だれが落としていったかわからない紙くずがあったとします。それを拾ってくず箱に入れるという行動はボランティアの心そのものなのです。トイレの入りのマットが乱雑になったら、ちよつと直してやる。これもボランティアの心がそうするのです。

つまりその人は自発的にそうしていますが、それは次にそこに来る人にとって気分のよいことですし、その人はだれに褒められようとしてやっていることでもありません。

アメリカには「サービスはシークレットにやれ」という言葉があると聞きました。サービス、つまり奉仕は他人に知られないようにシークレット、つまり秘密にしないということだそうです。

ボランティアの心はまさにそのシークレットの心だと思います。「私がしたのです、見てください。私が掃除したのです、褒めてください」というような「そぶり」が少しでもあれば、それは真のボランティアではないということです。

（山岸博志・関根正明『『あり方・生き方』を考える50のいい話』より一部抜粋）

語源：単語のはじまり。

報酬：労働などに対するお礼の金銭や物品。

慰問：訪ねてなぐさめること。

自発的に：自分から進んで。

上の文章を読んで考えたことを、体験や身近なできごとを例にあげて、次のページの原こう用紙に書きましよう。

- ・ 題名や名前はいりません。一行目から書き始めましよう。
- ・ 必要に応じて、段落に分けて書きましよう。
- ・ 原こう用紙に収まるように書きましよう。ただし、文章を見直すときには、次の〈例〉のように、付け加えたり、けずったり、書き直したりしててもかまいません。

〈例〉今日の給食のデザートはリンゴだった。ぼくは、青森県産の

残さずに
おいしいリンゴが大好きなので、ペロリと食べた。

20字×15行

メモ・下書き